

いのち 生命の水 をまもる

残留塩素は安全のあかし

久代浄水場では、水道水を塩素で消毒しています。皆さんの家庭に送った水道水の中には微量の塩素が残っており、これを「残留塩素」といいます。この「残留塩素」が水中にある病原微生物を殺菌しますので、安心して飲むことができます。水道水は蛇口から出る時点で、1Lあたり0.1mg以上の残留塩素を保持することが、水道法で定められています。

水道モニターさんが毎日測定

市内の配水地域にお住まいの方から24人の水道モニターを募集し、各配水池から家庭に送られた水の残留塩素の濃度（塩素がどれくらい残っているか）やにおい、にごりのチェックを毎日お願いしています。



配水池を24時間監視しています

皆さんの家庭に送られる前の水道水を貯めておく配水池が市内に21カ所あります。久代浄水場の中央監視室では、市内の配水池にためる水量や配水池から皆さんの家庭に送られる水量など、配水池に異常がないかどうかを、24時間体制で監視しています。

